

5月21日(月)

## 今日のカ

2012年5月21日～5月27日

翻訳 鈴木淳之介

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

## 試練が教えてくれること

聖書朗読 ローマ 8:18～30

神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益としてくださることを、私たちは知っています。

ローマ 8:28

二日前、他の誰にでも起こる出来事が私たちにも起こりました。私の妻であり、55年を共にした宣教活動の相方が癌であることを告知されました。Cから始まる言葉があったという間に妻の世界を変えてしまい、最悪の事態を考えるようになりました。告知される前の二日間には、希望があふれていたのに。

危機の中にあって、恵みもいただきました。しばしば、宣教活動の中で慰問を行い、祈りを捧げていましたが、人々が癌の告知をどのようにしのいだのかを完全には理解していなかったのです。いまや以前よりはましな助け手になることが出来ました。

私は知りました。どんなに愛するものを大切にしようとも、それがいつ本当に失われてしまうのかは知る由もないのだということ。

私は知りました。神にある家族にあって妻は一人ではないことを。最も心のこもった励ましの便りは私のかつての生徒から来ました。彼は一時期道を見失いましたが、主に立ち返った人です。私たちは主が危機の最中になさる良きはたらきを時に知るのです。

*私たちの主の御座の前に熱心な祈りを注ごう。*

*私たちの怖れ、私たちの希望、一つである私たちの志、私たちの慰めと苦勞。*

*互いの嘆きを共にし、互いの重荷を背負う。*

*そして時には互いのために慰めの涙を流そう。*

———ジョン・フォーセット

聖歌 604

祈り 主よ。偉大なるあなたは嵐さえも恵みに用いられます。願わくば、私たちがそれを心に留められますように。

主の御名によって。アーメン。

G・B・シェルバーン三世  
テキサス州 サウスホーストン

5月22日(火)

## 先生を励まそう

聖書朗読 ローマ 12:1~7

私たちは、与えられた恵みに従って、異なった賜物を持っているので、もしそれが預言であれば、その信仰に応じて預言しなさい。奉仕であれば奉仕し、教える人であれば教えなさい。勧めをする人であれば勧め、分け与える人は惜しまずに分け与え、指導する人は熱心に指導し、慈善を行なう人は喜んでそれをしなさい。

ローマ 12:6~8

ある晩、車で家に帰る途中、満月が真正面から昇ってくる様子を直に見ることがありました。満月は地平線近くになると、大きく見えるものです。言葉を覚え始めたの幼い息子が私の横の座席に座っていました。月を見た彼が息を吸い込む音が、そこから聞こえてきました。それから「彼ば お月さまだ！ ありがとう！ 神さま！」と言いました。私は思わず眼が潤んでしまい応えました。「そうよ、神さまがお月様をつくられたの。そのことに感謝しましょうね。」

息子が教会で聞いた歌から学んでいることを私は知っています。私は黙って神様に息子の教会学校の先生のことで感謝しました。私がこの「特別なとき」について彼女と分かち合った時、彼女は我が事のように喜んでくれました。

私は、毎週私たちの子どもたちに誠実に教えてくださる教会学校の先生方に感謝します。毎週ほんの少しの時間、子どもたちに教えるための準備に彼らが多く時間を費やしてくれていることを知っています。彼らに励ましの言葉を語りかけ、可能な時にはお手伝いを申し出るようにしたいものです。

勿論、私たちはすべての子どもといる時には、言葉と手本を以って教えます、車の中でもどこでもいつでも出来る時に。なんと素晴らしい特権でしょう。

讃美歌 第二篇 161

祈り 天にまします私たちの父よ。地の果てまでの造り主よ。私たちはあなたの造られたものをみて賛美いたします。私たちが祈りを見て人を教え、同じようにあなたを賛美することができるように導き助けてください。イエス様の御名によって。

キャロライン・イエテス  
ノースカロライナ州 ローリー

5月23日(水)

## ダウン！だがアウトではない！

聖書朗読 コリント 1:1~11

ですから、私は、キリストのために、弱さ、侮辱、苦痛、迫害、困難に甘んじています。なぜなら、私が弱いときにこそ、私は強いからです。

コリント 12:10

落胆というものは、人を選びません。それは誰にも起こることです。パウロは落胆に苦しめられました。彼はどのように対処したのでしょうか？彼の秘訣は神様の強さにありました。あなたがもし落胆して、荷物をたたもつとした時には、自分自身を見るのはやめて、神様に思いを集中しましょう。

パウロは三つの助言を与えてくれました。第一に、神様があなたにとって何であるのかを思い出すこと。彼は神様です。私たちの主であるイエス・キリストの父です。恵みの源です。すべての癒しの神です。この節においては、癒しは「強さ」です。

第二に、神様が私たちのために何をしてくださったかを思い出すことです。神様は、私たちが神様にあって信じることを学ぶために、試練が私たちの生活に入り込むことをお許しになられました。神様は私たちにご自身を信頼することを求めておられます。私たちの才能や天性ではありません。神様はパウロに、彼が肉体の刺に直面した時に言われました。『わたしの恵みは、あなたに十分である。』（コリント 12:9）

第三に、神様が私たちを通して何をなさるのかを思い出すことです。私たちが試練に苦しむ時に、同じような試練に苦しむ人々を祝福することができるようになるからです。神様は私たちを通して働かれる前に、私たちの中で働かなければならないのです。

*自己憐憫は最悪の敵です。それに自分自身をゆだねれば、  
この世界で何ひとつ賢明なことばできないでしょう。*

——ヘレン・ケラー

讃美歌 312

祈り 父よ。人生の試練に立ち向かうためにあなたがくださった強さに感謝します。私たちは日々あなたの助けを必要としています。試練を克服し、勝利を得るために。

イエス様の御名によって。アーメン。

エディー・C・レーヴィス  
テネシー州 ジャーマンタウン

5月24日 (木)

## 更 新

聖書朗読 コリント 4:8~16

ですから、私たちは勇気を失いません。たとえ私たちの外なる人は衰えても、内なる人は日々新たにされています。 コリント 4:16

更新というものは人生のサイクルの中で起こる最も自然なものの一つです。ご存知の通り、私たちは運転免許の更新を断れませんし、保険証券やパスポートも同様です。大きなスケールで考えれば、私たちの物質的な肉体も寝ている内に新しい細胞に入れ替わっているわけですし、人間関係も黙っていても更新していきます。自然界も長い冬の休みの後では、入れ替わりに忙しいものです。自然界の新しい成長は私たちの感覚に美しさと爽やかさを感じさせ、私たちの精神もリフレッシュされるような効果をもたらします。神様は、私たちの必要とされるものを知っておられ、いつ更新を必要とするかもご存知なのです。

今日の聖書朗読の箇所は、私たちの更新を奨励しています。私たちの中でキリストにあって安らう者には究極の祝福があります。留まることなき更新がいつまでも行われ、求めるだけ与えられます。それは終わることがありません。冬でも休むことはありません。その対価はすでに支払われ、それを求めるだけとなっています。神様は私たち自身が更新することの重要な役割を理解しておられ、人間に対してその費用を負担することができる最高のものを与えられました。——それはご自身です。私たちが肉体的に弱ってきたと感じた時には、神様がいつの日か私たちを新たにしてくださることを思い出しましょう。そう、元気よく新しく！

聖 歌 711

祈 り 主よ。私たちが元気を失うことのないよう、あなたにあって日々新たにされる機会を私たちに確かにくださったことに感謝いたします。

イエス様の御名によって。アーメン。

スーザン・K・ギボニー  
カルフォルニア州 マリブ

5月25日 (金)

## 天にまします我らの父

聖書朗読 ガラテヤ 3:23~4:7

私たちが神の子どもと呼ばれるために、——事実、いま私たちは神の子どもです——御父はどんなにすばらしい愛を与えてくださったことでしょうか。世が私たちが知らないのは、御父を知らないからです。 Iヨハネ 3:1

若き友には、父なる方の御姿というものが生活の中にありません。彼らにとっては、強く憐れみ深い天にまします父というものを想像することが難しいのです。

私たちの小さな町の教会を思い出しますと、私の父は祈禱会で司式する番になった時に 疲れ果てて頭を垂れているので順番を飛ばしてもらうことができました。他の人々は優しい心の持ち主で、丸一日働いてから聖書の学びを夜まで行い、人によっては灯油ランプの明かりを頼りに行なっておられました。彼らの聖書クラスや礼拝司式へのいねいな準備は、私に神様は信頼に足る父なるお方であることを知らせたのでした。

彼らのひたむきな信仰を見たり聞いたりして、私は、父なる神は大いなる愛と恵みをもっておられる方であることを学びました。神は立ち返った罪人に会うために駆ける方であると彼らは話していました。それが彼らの生きて祈る福音でした。

私はこのように強く純粋な父なる方を思い出すのが大好きです、彼らは私に私の天にまします私の父の愛を示してくれました。願わくは、私の愛と献身が小さな者に強く愛にあふれた本当の天にまします父を示すことが出来ますように。

讚美歌 24

祈 り 私たちの聖なる父よ。私たちの人生に変わらぬ配慮と愛をくださることに感謝します。私たちをあなたの子にくださった新生に感謝します。天にあって私たちのために取りおかれている永遠の嗣業に大いに期待します。

イエス様の御名によって。アーメン。

コーデリア・ラッカー  
オクラホマ州 ウッドワード

5月26日(土)

## 舵 と 碇

聖書朗読 ピリピ 4:4~9

悩む者には毎日が不吉の日であるが 心に楽しみのある人には毎日が宴会である。  
箴言 15:15

人生の舵とは私たちの姿勢であると言われていています。神様の真理に立ち返る時が長ければ長いほど、私たちの姿勢は直立し真っ直ぐなものになります。神様の真理を採用することで、嵐の後にも真っ直ぐと立つことが出来るし、嵐の中でもぐらつくことはないのです。最近、嵐の中にあったことはありますか？

神様の御言葉は多くのことを示されています。ちょっと立ち止まって「碇たち」について考えましょう、それが私たちをキリストにあって揺るぎないものとしているのです。碇である言葉とは、希望『わたしはあなたがたのために立てている計画をよく知っているからだ。……あなたがたに将来と希望を与えるためのものだ。』（エレミヤ29:11）、確信『キリストを信じる信仰によって大胆に確信をもって神に近づくことができるのです。』（エペソ3:12）、知恵『あなたがたの中に知恵の欠けた人がいるなら、その人は、だれにでも惜しげなく、とがめることなくお与えになる神に願いなさい。』（ヤコブ1:5）などです。これらの聖書の箇所を大声で繰り返し読み上げれば、この揺れ動く世界で私たちの心に確かな安定が与えられます。全く神様なしに、私たちはどのようにこの世に立ち向かい、前向きな考えを持つことが出来るのでしょうか。

前向きな心を持つ秘訣とは、心を真実、純粋、正義そして愛の考えて満たすことです。それがパウロの秘訣で私たちにも可能なことです。私たちも自身の姿勢をチェックし、神の言葉という碇を取り入れましょう。

讚美歌 第二篇 80

祈り 父よ。尊い御言葉に感謝します。私の人生のあらゆる季節と日々において御言葉が必要なものだとは素晴らしいことです。  
イエス様の御名によって。アーメン。

W・スコット・ウッドリー  
テネシー州 キングストン

5月27日(日)

## 赦し の 時

聖書朗読 コロサイ 3:12~14

「どくろ」と呼ばれている所に来ると、そこで彼らは、イエスと犯罪人とを十字架につけた。犯罪人のひとは右に、ひとは左に。そのとき、イエスはこう言われた。「父よ。彼らをお赦しください。彼らは、何をしているのか自分でわからないのです。」彼らは、くじを引いて、イエスの着物を分けた。

ルカ 23:33~34

米メジャーリーグのシカゴ・カブスのファンは、1908年のワールドシリーズ制覇以来優勝していなかったチームのファンです。2003年10月14日にフロリダ・マーリンズとのリーグチャンピオンシップで敗北し、ワールドシリーズへの進出はかないませんでした。多くの人々はある少年野球ファンが、本来ならばカブスの外野手のモイゼス・アラーがキャッチするはずだったファウルボールを捕球妨害し、勝利を逃す要因を作ったことを責めました。その後、アラーは格言を引用して「もう少年を赦すべき時だ。そして上に進もう」と発言しました。

私達は皆、間違いを犯すものです。野球場での事件は、無邪気な災難でした。私達は他人から責められる可能性を持って生きています、だから私たちは落ち着きと分別を忘れないようにしないといいけません。ある人が間違いを犯したとして、私たちにはどのように反応するかを選択肢があるのです。私達は神様が私達を赦したように他人を赦したいものです。赦しについてのイエス様の模範は、私たちが学び、自らに当てはめるべきものです。今日の聖書朗読のイエス様の言葉をできるだけ繰り返し読みましょう。いつも赦すべき時なのです。

讚美歌 第二篇 58

祈り 主よ。あなたの助けと配慮と御守りを願い祈ります。あなたの聖霊が常に私たちとともにあるようにしてください。私達を正しき道に導き、あなたに仕えるように模倣させてください。  
イエス様の御名によって。アーメン。

ジョージ・F・ドーアティ  
テキサス州 タイラー